令和7年度定期作況報告

7月20日現在 道総研酪農試験場

I. 気象概況

- 6月下旬から7月中旬までの気象概況は次の通りである。
- 6 月下旬:最低気温は 14.5℃で平年より 4.5℃高く、最高気温は 27.4℃で 7.5℃高く、平均 気温は 20.6℃で 6.3℃高かった。降水量は 4.0mm で平年より 31.5mm 少なかった。日 照時間は 78.7 時間で極めて多かった。
- 7月上旬: 最低気温は16.4℃で平年より3.9℃高く、最高気温は27.5℃で5.8℃高く、平均 気温は20.9℃で4.5℃高かった。降水量は4.0mmで平年より32.6mm少なかった。日 照時間は58.8時間で17.9時間多かった。
- 7月中旬:最低気温は16.6℃で平年より2.4℃高く、最高気温は26.8℃で3.6℃高く、平均 気温は21.2℃で3.4℃高かった。降水量は19.5mmで平年より14.5mm少なかった。 日照時間は45時間で6.7時間多かった。

この1ヶ月間は、全般的に高温・少雨・多照で推移したことが特徴的だった。 特に、気温は期間を通して極めて高く、降水量は6月下旬から7月上旬にかけて極めて少なく、日照時間は6月下旬に極めて多かった。

_	4	=
	77	-

項目			6月下旬			7月上旬			7月中旬			平均または合計		
	_	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
平均気温	(°C)	20.6	14.3	6.3	20.9	16.4	4.5	21.2	17.8	3.4	20.9	16.2	4.7	
最高気温	(°C)	27.4	19.9	7.5	27.5	21.7	5.8	26.8	23.2	3.6	27.2	21.6	5.6	
最低気温	(°C)	14.5	10.0	4.5	16.4	12.5	3.9	16.6	14.2	2.4	15.8	12.2	3.6	
降水量	(mm)	4.0	35.5	△ 31.5	4.0	36.6	△ 32.6	19.5	34.0	△ 14.5	27.5	106.1	△ 78.6	
降水日数	(日)	2.0	4.1	△ 2.1	3.0	4.6	△ 1.6	5.0	4.0	1.0	10.0	12.7	△ 2.7	
日照時間	(時間)	78.7	44.9	33.8	58.8	40.9	17.9	45.0	38.3	6.7	182.5	124.1	58.4	

- 注1) 平年値は前10カ年平均1
 - 2) △は負の値を示す

Ⅱ. 当場作況

1. とうもろこし 作況: 良

事 由

6月下旬から7月中旬にかけて、平年より気温が高く日照時間も長かったことから生育は順調に進んだ。7月20日現在、草丈は平年より73cm高く、出葉数は平年より0.4枚多い。これらのことから、目下の作況は良と判断される。

品種名	草	丈(cr	n)	出葉数(枚)			
	本年	年 平年 比較		本年	平年	比較	
+ + 7°114	000	100	70	100	110	0.4	
たちぴりか	206	133	/3	12.2	11.8	0.4	

- 注 1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較 を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。
 - 2) 当場のとうもろこし作況調査は、平成22年度より供試品種を「たちぴりか」に変更している。
 - 3) 平年値は前7カ年のうち最豊年の令和2年および最凶年の令和4年を除く5カ年の平均値である。
 - 4) △は減を表す。

2. 牧草

(1)採草型

チモシー単播

事 由

6月下旬から7月中旬にかけて、気温が極めて高く、降水量が極めて少なかったことから生育は停滞した。7月20日現在の草丈は、2年目草地で47cm、3年目草地で45cmであり、平年よりも2年目草地で12cm低く、3年目草地で14cm低かったことから総じて低いと判断される。また、再生不良よる欠株箇所も認められている。

作況:2番草 不良

以上のことから、現時点での2番草の作況は不良と判断される。

		2番草 7月20日草丈(cm)					
草地	草種						
	_	本年	平年	比較			
「なつちから」2年目	TY単播	47	59	Δ 12			
「なつちから」3年目	TY単播	45	59	△ 14			

注 1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない.

²⁾ 平年値:平成30年~令和6年のうち、最凶年と最豊年を除く5か年平均値.2年目草地の最凶年は令和2年、最豊年は令和6年、3年目草地の最凶年は令和3年、最豊年は令和6年であった.

^{3) △}は減を示す.

(2) 放牧型

メドウフェスク単播

作況:2番草 不良 3番草 やや不良

事 由

2番草:6月下旬までの降水量が極めて少なかったことから、生育が停滞した。刈取り時の草丈は平年と比べ、2年目草地で7cm低く、3年目草地で同じであった。乾物収量の平年比指数は2年目草地で89、3年目草地では91と低収であった。

以上のことから、2番草の作況は不良と判断される。

3番草:7月上~中旬の気温が極めて高く、降水量も極めて少なかったため、生育が停滞した。7月20日現在の3番草の草丈は平年よりも、2年目草地で7cm低く、3年目草地で6cm低く、総じてやや低かった。

以上のことから、現時点での3番草の作況はやや不良と判断される。

		2番草								
草地 草種	—— 刈取	月日(月	/日)				7月20日草丈(cm)			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
「まきばさかえ」2年目 MF単播	7/1	7/2	Δ1	48	55	Δ 7	35	42	Δ 7	
「まきばさかえ 13年目 MF単播	7/1	7/1	0	45	45	0	32	38	Δ6	

注 1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない.

^{3) △}は減を示す.

	2番草							
草地	草種	生草	仅量(kg	;/10a)	乾物収量(kg/10a)			
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比指数
「まきばさかえ」2年目	MF単播	787	934	△ 147	163	184	Δ 21	89
「まきばさかえ」3年目	MF単播	635	786	△ 151	138	152	△ 13	91

注 1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない.

²⁾ 平年値: 平成30年~令和6年のうち、最凶年と最豊年を除く5か年平均値. 2年目草地の最凶年は令和元年、最豊年は令和6年、3年目草地の最凶年は令和3年、最豊年は令和5年であった.

²⁾ 平年値: 平成30年~令和6年のうち、最凶年と最豊年を除く5か年平均値. 2年目草地の最凶年は令和元年、最豊年は令和6年、3年目草地の最凶年は令和3年、最豊年は令和5年であった.

^{3) △}は減を示す.